



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稜雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	兵庫県プライマリ・ケア協議会令和6年度研究集会に参加して	1
	新春セミナー『未来を担う臨床検査技師のために』が開催されました、兵庫県臨床検査技師会リー ダー育成研修会を開催／参加して	2
	第14回西播地区研修会に参加して、# 研究班(遺伝子検査研究班)、今後の予定	3
	[第7回] 突撃! とんりの検査室(公立神崎総合病院)	4
	会員グルメ情報	5

兵庫県プライマリ・ケア協議会令和6年度研究集会に参加して

令和6年12月22日に開催されました兵庫県プライマリ・ケア協議会令和6年度研究集会に参加しました。プライマリ・ケアは、国民のあらゆる健康上の問題、疾病に対し、総合的・継続的、そして全人的に対応する地域の保健医療福祉機能と考えられています。その中で災害派遣はプライマリ・ケアの真価を発揮する場ともなります。本研究集会には医師、薬剤師、訪問看護師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、歯科衛生士、ケアマネージャーなど様々な職種から総勢76名が参加し、主に地震災害時における役割と取り組みについて講演、議論されました。

どの職種の発表においても強調されていたのは、『多職種連携』です。臨床検査技師会からは安部史生 渉外部長が発表されました。災害派遣先での臨床検査技師の役割で例えるなら、臨床検査技師自ら検体採取から検査を行うことで、医師や看護師に診療に集中してもらえる環境を作るということでした。その為には、日頃から検査室に籠らず外へと足を運んでいく技師の姿勢が必要とされます。現状、技師は専門特化型であることが多いため専門外にも興味を持って目を向けることの大切さを感じました。

また、災害に向かう技師らは殆どボランティアというスタンスで活動を行っています。大きな活動力を得るためには、国からの働きかけは不可欠なものであり、有事に備えて体制を整えておく必要性を説かれました。

兵庫県医師会会長の八田先生にインタビューを行い、災害支援活動時に臨床検査技師へ期待すること、能登半島地震を通じて感じたことについて伺いました。

「災害時の臨床検査技師の活動についてなかなか目にすることはありませんが、いかに水を使わないようにするか、あるいはいかに廃液を出さずに検査をするか、様々な工夫をしながら活動しているということを今回の研究会で認識しました。医療現場だけでなく避難所での生活や公衆衛生においても水は非常に重要であり、そういったところでも多職種が連携する中で臨床検査技師とも一緒に協力をしたい。能登半島は地理の特性上、アクセスが難しくインフラがなかなかないという意味で、非常に特殊な地域でありました。兵庫県においては、南は都市部、北部は山間部であり、日本の縮図と言われている。どこで災害が起こるかによって対応は全く変わってくることから、地域の特性を考えての支援活動・救助活動が大事になってくるんじゃないかと感じました。」との旨、お言葉を頂きました。

本研究会を通して、有事の際の臨床検査技師としての在り方を考えることができました。 (文責 : 広報部 田中・湊)



安部史生 渉外部長



講演の様子



兵庫県医師会会長 八田昌樹先生

新春セミナー『未来を担う臨床検査技師のために』が開催されました

令和7年1月18日(土)14:00~18:00に、ザ マーカスクウェア神戸5Fザ ボールルームにて新春セミナーが開催され、総数103名の方に参加していただきました。セミナーでは、日本臨床検査学教育協議会理事長の坂本秀生先生より、「新制度の臨地実習へ至る背景と期待」の内容についてご講演いただきました。今年度から新制度での学生実習に対応する施設も多く、求められる背景や対応について解りやすくご講演いただきました。日本臨床衛生検査技師会理事 臨地実習指導者講習会WG委員長の藤田望先生には、「病院に来た学生に何を教える?~私たちの仕事を未来に残すために~」について、より現場に解りやすい内容でお伝え頂きました。臨地実習は長らく改訂されておらず、より現在の状況に合わせた形で新制度が作られています。臨床検査技師の将来を担う学生を、病院でも一緒に育てていきましょう。

(文責：広報部 住之江)



兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会を開催して

池本 純子 事務局長 (兵庫医科大学病院)

日臨技より、都道府県技師会で活躍できる次世代のリーダーを育成する「都道府県技師会リーダー育成研修会」の開催要請を受け、令和7年2月1日(土)に兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会を開催しました。

午前中は日本臨床衛生検査技師会 横地常広会長の講義(講義1:臨床検査技師の進むべき未来と次世代のリーダーに求めるもの、講義2:次世代を担う臨床検査技師に期待すること「臨床検査DX」を推進するための人材育成)、午後からはグループワークを行ないました。

グループワークでは3~4名に分かれ、ブレインストーミングとKJ法による現状分析・課題解決・計画立案の手法の習得と、個々のマネジメントスキルの向上を図ることを目標としワークを実施しました。

参加者からは講義で得た情報や知識、グループワークの手法を明日からの業務に活かしたいとの感想を受けました。

少子高齢化により日本社会は大きな転換期を迎えており、この変革に対応できる人材の育成が求められています。兵臨技においてもさらなる組織の活性化と強化が必須ですので、引き続き、次世代を担うリーダーのスキル向上を目指す取り組みを継続してまいります。

兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会に参加して

神前 雅彦 会員 (兵庫医科大学病院)

この度、兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会に参加させていただきました。午前中の横地会長のご講演では、医療情勢の変化や、病院経営にとどまらず、医療情報システム、医療DXなど多彩な内容で、多くの情報を得ることができました。また、リーダーの資質に関する内容については、理想とするリーダー像にいかにして近づいていくか、改めて自らを省みるきっかけとなりました。

午後からのグループワークでは、他施設の方3名と昼食を共にするところから始まり、親睦を深めたところで、グループワークの進め方や手法に関するご講演があり、その後、一つのテーマについてディスカッションをしていく内容でした。私はいくつかある役割の中で、進行役として参加しましたが、なかなかうまく進行できず、グループメンバーや、ファシリテーターの方のご協力により何とか務めることができました。様々な意見を聞き、時間内にまとめることの難しさを体感できたと思います。

研修会最後には一人ずつ研修会の感想を述べる時間があり、皆様がどのような想いで参加されていたのか、聞くことができました。受講のみの研修会では、他施設の方のお話や、研修会の感想を伺うことはあまりなく、貴重な経験をすることができました。また、このような機会があれば是非参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。



第14回西播地区研修会に参加して

原田 裕介 会員（三栄会 広畑病院）

2月6日(木)に開催された「西播地区研修会」に現地に参加させていただきました。

今回の演題では心臓・腹部超音波のスクリーニング検査についてご教示して頂きました。心エコーの演題では評価する上で患者様の体型や体勢などその時々で異なる状況下でのきれいな画像の描出、症例を用いた弁膜症などについて学ばせていただきました。

私も先生がおっしゃられていた所を含め明日からの臨床に活かしていきたいと思います。

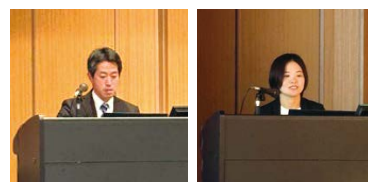
腹部エコーについては以前から興味は持っていましたが、当院では検査技師が腹部エコーを施行しておらず全くの素人ではありますが松崎先生の講演を聞かせていただき以前に増して興味がわきました。それと同時に各臓器の画像の描出・評価など非常に複雑で難しい分野であることを痛感致しました。その中でもわかりやすく、丁寧にご教示くださりありがとうございました。

最後になりましたが講演してくださった先生方、企画・運営してくださったスタッフの方々に感謝申し上げます。

第14回西播地区研修会に参加して

鴨谷 舞 会員（姫路赤十字病院）

約3年ぶりに開催された、西播地区研修会に参加しました。私が臨床検査技師になった時はすでにコロナ禍でありWebでの開催だったため、今回はじめて現地参加させていただきました。心臓・腹部エコーのスクリーニングについてということで基礎的なことを学びなおす貴重な機会となりました。私は心エコーに携わって2年弱になりますが、はじめての時に知リたかった!と思う内容が盛りだくさんでした。また細かい描出のコツなど勉強させていただきました。改めてガイドラインを読み直そうという学習意欲も湧いてきました。腹部エコーについてはプローブの持ち方や操作のコツなど基本的なことから学ぶことができました。今後腹部エコーに携わる際には本研修会で得た疾患の特徴の知識や描出についての技術を活かしていきたいと感じました。心エコーも腹部エコーもきれいな画像の描出が検査の質を左右するため、今後も描出技術を磨いていきたいと思っています。次回開催も楽しみにしております。最後になりましたが第14回西播地区研修会の開催に尽力してくださった皆様、ありがとうございました。



#研究班

水田 駿平 会員（遺伝子検査研究班／兵庫県立尼崎総合医療センター）

遺伝子検査研究班の水田駿平(尼崎総合医療センター)です。遺伝子検査研究班では主に造血器腫瘍に対する検査を中心に研修会や学会のセッションを企画してきました。現在造血器腫瘍はWHO分類をもとに診断されますが、2022年に発表された第5版では、遺伝子検査が診断に必須と言っても過言ではないくらいに重要性が強調されています。一般的に遺伝子検査は外部に委託することが多いですが、一部の項目は安価かつ簡易、迅速に検査することが可能です。

造血器腫瘍に対しても網羅的遺伝子検査が開始されますが、迅速性やコスト、さらに全ての機関で実施できるわけではない点を考えると、院内での実施には大きなメリットがあると考えています。コロナ禍を機にPCR装置を購入したものの、活用し切れなくてお悩みの方がおられましたら、ぜひお気軽にご相談下さい。

また、遺伝子検査研究班は毎年血液検査研究班と合同で研修会を実施しています。班員にはフローサイトメトリーを担当する者も多く、形態検査、フローサイトメトリー検査、遺伝子検査を総合的に学べる全国的に見ても貴重な研修会であると自負しています。ご興味のある方は是非ともご参加下さい。

《今後の予定》

第15回 西播地区研修会

開催日時／令和7年5月18日 9:30~12:00 開催場所／姫路赤十字病院（現地とZoomによるハイブリッド）
内容／基礎・日当直関係（生化・免疫、血液、輸血、一般）

第7回

突撃！ となりの検査室

公立神崎総合病院

《所在地》〒679-2414 兵庫県神崎郡神河町栗賀町385



●概要

施設名	公立神崎総合病院
病床数	140床
部署人数 (午前勤務4名)	技師／11人 その他／1人 男女比／1:11
	経験年数／～10年目1人、11年目～10人
勤務体制	勤務時間／①8:30～17:15 (早出)②7:30-16:15 ③8:15-17:00
第三者認証	取得済み

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生理検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、神経伝導速度 エコー（心臓・腹部・乳腺・体表・頸動脈・下肢・関節・透析シャント）

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	できるところからタスク・シフト／シェアに取り組んでいます。
詳細	外来採血と外来・病棟のコロナ・インフルの鼻咽頭採取はほぼ技師で対応しています。生理検査では病棟患者さんの送迎(主に検査後病棟に送っていく)や心電図、目的にもよりますがエコー検査をベッドサイドで実施することで送迎にかかる時間や手間の軽減を目指し取り組んでいます。

●採血室の状況

台数	3台	採血数／1日	85人
構成メンバー	2人(午前勤務)		

●新人教育について

新人教育の進め方	計画に沿って順番に各部門の基本的な操作を学び、到達度を確認しながら1人で日直・呼出対応ができるようにトレーニングしていきます。
----------	---

●検査領域

分野	検査機器	年間件数(備考)
採血	BC-ROBO	27,312
化学	cobas pro c503,pure c303	48,329
免疫	cobas e801	27,477
血液	ST/XT-2000,CS-1600	42,855
一般	US2200	28,068
微生物	RAISUS(2025.2～)	4,160
遺伝子	SmartGene	141(コロナPCR)
輸血	Wadiana Compact	2,032
病理	Tissue-TecVIP5Jr.等	2,533
心電図	Cardiofax	6,517
呼吸	CHEST	249
神経生理	Neuropack	84
聴力	RIONオージオメータ	3,627(健診含む)
エコー	Aplio,LOGIQ等	5,216

●運用面での工夫など

- ・横断的に業務を行えるようにし、担当部門以外の応援体制を整えています。採血が多い日は検体検査部門から応援に行きます。採血は8:30開始で患者が集中し混雑していたので15分繰り上げ8:15開始で行っています。以前に比べると混雑は解消されたと思います。
- ・各部門の手順やルール、いろいろ(様々)な対処法、休んだ日の連絡事項など検査科内PCでどこでも見れるようにし、情報共有しています。

●技師長より、読者へ向けて一言よろしく願いいたします

兵庫県の真ん中あたりにある病院です。地域になくはならない病院、信頼される存在になれるよう日々努めております。研修会等、現場もいいですがWebで受講できるがものが増え、参加しやすくなりました。基本的なこと、自分の施設では経験できないようなことも学ぶことができ、感謝しています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



検体検査室



生理検査室



採血室



2024病院祭

文責：細岡 理恵 会員（公立神崎総合病院）



会員グルメ情報

数珠つなぎ 70

上新 咲希 会員
(北播磨総合医療センター)



一番人気のバスクチーズケーキ (¥420)



焼き立てのみるくパン (1斤¥530・1.5斤¥800)

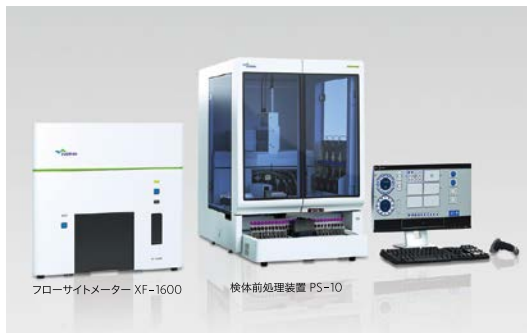
今回ご紹介するのは牛乳屋のパン屋さん【みるく村808】です。神戸電鉄粟生線・市場駅より徒歩約10分、北播磨総合医療センターからは車で約5分の所にあります。店内には食パンはもちろん菓子パンや惣菜パンと種類多く並べられ、来店するたびに新しいパンと出会えます。無添加&国産小麦と牛乳を使用したパンはとても柔らかく、生地にはほんのり甘みを感じられます。オススメは金曜・土曜限定の【みるくパン】です。水を一切使わず、那須高原で育った牛の牛乳100%で作られた食パンはミルクの優しい風味が特徴です。またこちらも金曜・土曜限定で【源ちゃんのケーキ】が販売されています。一番人気の牛乳たっぷりのバスクチーズケーキは、濃厚なのに癖がなく大きめのサイズですがペロリと完食してしまいます。その他には、注文が入ると同時にクリームを詰めてくれるクッキーシューの【アポロ】や季節の果物を使ったケーキやタルトも並んでいます。(写真にはないのですが、秋季に販売されていた栗たっぷりのモンブランが私の一押しです!)販売されるケーキの種類は日によっても異なるためお店のInstagramを確認してご来店ください。数に限りがあるため売り切れてしまうこともあります。お取り置きや北播磨地域(小野市・三木市・加東市・加西市の一部・加古川市の一部)では配達も行っているそうなので近隣の方は是非ご活用してみてください。北播磨地域にお越しの際は、是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

《店舗情報》

店 名	みるく村808
住 所	〒675-1327 兵庫県小野市市場町808 ☎080-2395-2025
営業時間	11:00~18:00 売り切れ次第終了(ケーキは12時より販売)
定 休 日	水曜日・日曜日



シスメックスが提案するフローサイトメトリー検査



フローサイトメーター XF-1600

検体前処理装置 PS-10

フローサイトメーター XF-1600

医療機器届出番号:28B1X10014000009

検体前処理装置 PS-10

医療機器届出番号:28B1X10014000003

フローサイトメーター XF-1600、検体前処理装置 PS-10の両者をつなぐ専用ローターを用いることで、検体を並び替える煩雑な作業を省力化します。また、PS-10で読み取ったワークリストをXF-1600に転送することが可能であり、フローサイトメトリー検査の作業効率が向上します。



専用ローター

製造販売元

シスメックス株式会社

本 社 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支 店 仙 台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東 京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大 阪 06-6337-8300 広 島 082-248-9070 福 岡 092-687-5380
 営業所 札幌 011-700-1090 盛 岡 019-654-3331 長 野 0263-31-8180 新 潟 025-243-6266 千 葉 043-297-2701 横 浜 045-640-5710 静 岡 054-287-1707 金 沢 076-221-9363
 京 都 075-255-1871 神 戸 078-251-5331 高 松 087-823-5801 岡 山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788
 日本東アジア地域本部 03-5434-8565

www.sysmex.co.jp



注 ① 記載及びサイトの適用範囲は規格により異なります。
 詳細は www.bv.com に ID 090580004 を参照。
 Note: Scope of sites and activities vary depending on the standard.
 For details, refer to the ID 090580004 at www.bv.com

2023年8月作成

Canon

私たちは、 「いのち」から始まる。

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であると
 キヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。

創業以来、つねに医療関係者の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。

その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、

世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。

医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために。

私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、
 そして、ともに歩むために。

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000059-02

